



不登校の児童生徒の保護者のみなさんにお便りします

やまびこ



兵庫県立但馬やまびこの郷

<http://www.t-yamabiko.asago.hyogo.jp/>
E-Mail : Tajimayamabiko@pref.hyogo.lg.jp

心は、子どものそばに・・・

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のために、日常生活に様々な影響が出ています。在宅勤務や学校の休業などおとなも子どもも家庭で過ごす時間が増えました。マスクをすることで、他人の気持ちを感じにくくなったり、他者との距離をとることで、人の関わりの感触が今までとは違うと感じられたりすることもあるのではないでしょうか。また、ささいなことでイライラしたり、見通しの立たない中で不安になったりすることもあるかもしれません。ソーシャル・ディスタンスを保ちつつ、それでも心は子どもたちのそばにいたいですね。このような時代に、私たちは、子どもたちとどのように関わっていけばいいのでしょうか。

先日、教職員向けの不登校に関する研修会で、立命館大学大学院教職研究科教授 春日井敏之先生に、ご講演いただきました。その中の「家庭教育を見直す6つのポイント」を紹介させていただきます。家庭での時間が増えた今だからこそ振り返るよい機会だと考えます。

家庭教育を見直す6つのポイント

- ☆思春期を迎えた頃、よくここまで大きくなってくれたと素直に成長を喜び合う。
- ☆今まで通用してきたかもしれない暴力・脅し・比較、物で釣る、泣き落としといった子どもへの支配コントロールをやめる。
- ☆良かれと思って敷いてきたレールを、子どもはどう受け止めているのか聴いてみる。
- ☆子どもが挫折や失敗をしたとき、責めるのではなく「今までよくやってきたね」とねぎらい、ひと休みをとる。
- ☆少し時間をかけて、これからどうしたいのか、子どもの相談にのって一緒に考える。
- ☆子どもを人生の主体として尊重し、どんなときも見捨てないで見守り、応援していく。

子どもたちの心身は、日々変化し、成長し続けています。私たち周りのおとなも、子どもの変化や成長に合わせて、関わりを変え成長していくことが大切です。行き詰った時や衝突しそうになった時は、立ち止まって自分を見つめ、対応を変えてみましょう。子どもの頑張っている時や輝いている時はもちろん、挑戦しようとしている時や失敗した時にも、そばで見守り、受け止める心のゆとりが必要ではないでしょうか。子どもたちが元気に活動できるよう、私たち周りのおとなも元気で穏やかでありたいものです。



まこさんからのメッセージ

コロナ時代の私たち —子どもたちはどうしていますか？—

兵庫県立但馬やまびこの郷所長

佐藤眞子

新型コロナウイルスの感染が最初に日本国内で確認されてから、すでに半年以上が過ぎようとしています。2020年4月から5月にかけての緊急事態宣言発令期間には、「おうちにいよう（ステイホーム）」というスローガンのもとに、不要不急の外出をしないこと、「3密」（密閉・密接・密集）を避けることが要請されました。緊急事態宣言が解除された後も、これらの方針は続けられています。

この間、学校や家庭はどうだったのでしょうか。3月から5月にかけて、小・中・高校は一斉休校になりました。子どもたちも「おうちにいよう」ということになり、多くの子どもたちが「学校に行かないで家にいる」ことを強いられました。子どもたちだけでなく、医療に従事する方やスーパーの店員さんなど、いわゆるエッセンシャルワーカーの方々を除くと、お父さんやお母さんもできるだけ「移動しないこと」が求められ、多くの方は自宅にいる時間が増えたのではないかと思います。

前年度に不登校であった、あるいは、不登校傾向にあった子どもたちは、この間、どんなふうにすごしたのでしょうか。あんなに「学校に行け」と言っていた子どもたちですが、突如「学校に行くな」になって、どんな気持ちだったのでしょうか。そして、通常授業が始まった今は…？

「ステイホーム」と家族

新学期が始まって、学校や学年が変わる中で、学級担任を中心になって、先生方はステイホーム中の子どもや保護者の方たちと電話でお話しすることができたようです。子どもたちの様子はどうだったのでしょうか。

別に前とかわらへん

先生：「毎日どうしてる？」子ども：「夜寝るのがおそくなっています」

（昼すぎに電話すると、子どもが受話器をとった場合は、みんな眠そうな声をしていたそうです。
どうやら昼夜逆転していたようで・・・。）

昨年度に但馬やまびこの郷を利用した子どもたちに話をききますと、自粛期間中も「別に前とかわっていない」という子どもが多かったように思います。

それに加えて「自分で食事を作っていた」という子どもも多くいました。おうちの方は「やまびこの郷で料理をさせてもらっていたから、その経験が役にたっています」と言わっていました。

親がうるさい

先生：「昼間家にはどなたがおられるの？」

子ども：「最近は、父親も母親も、きょうだいもいます」



急に、家庭内が「密」になりました。昨年まで学校を休みがちだった子どもは「学校に行かない日は、一人で家にいることが多かったので、静かに好きなことをして過ごしておれた」のに、自粛期間中は、家族がみんな家にいて、「うるさかった」ようです。「親と言い争ったり、きょうだいげんかが増えた」という子どももいました。

不登校の子どもたちといえども、家庭がすごく居心地がいいという子どもばかりではありません。親の在宅時間が増えて、またそれまで登校していたきょうだいが家にいるようになって、家族も「密」になり、ただでさえ狭い空間がこれまで以上に狭く、息苦しく感じられるようになったという家庭も多かったことでしょう。親が職を失ったり、収入を減らしたりした場合は、言うまでもなくいっそう深刻です。

ウイズ・コロナと私たち

緊急事態宣言が解除になって、6月半ばからはマスクを着用し、「密」を避ける形で、学校での通常授業が始まりました。昨年まで不登校だったけど、分散登校のときは登校できていたという子どももいました。でも、通常授業になると、やはり登校しにくくなっています。学校が醸し出す独特的の「密な感じ」が苦手なのかもしれません。

なんかしんどい

今はどんな暮らし方がいいのか、子どもたちにどのように感染予防策を伝えればいいのか、私たちの摸索が続きます。但馬やまびこの郷も、感染拡大に対応しなければなりませんから、4月から今（9月現在）まで、宿泊体験ではなく、1日入所・1日体験という受け入れ方をしています。

“見えない敵”がいたるところにいて、いつ襲われるかわからないとき、私たちはそれを脅威に感じ、孤独感を抱きます。大人も子どもも「なんかしんどい」という気分です。学校が再開されてから、やはり登校できなくて、家に閉じこもっている子どもは、登校している子どもたちに比べると、何倍も辛い毎日になっているかもしれません。

お父さん、お母さんは、子どもたちの気持ちに気づいて、子どもたちと一緒に「しんどいね」「これが心配なのかな」「こんなときはイライラするね」と言葉にしてあげてください。



それでも『密』を大切にしたい

「3密」のうちの「密接」を避けようとするのは、家族間では難しいと思います。そもそも家族つて「密接」なのですから。では、家族以外の人や友だちの間ではどうでしょう。不登校の子どもたちは、感覚的に「密閉」「密集」を好みない子どもが多いように思いますが、「密接」をいやがっているようには思えません。自分を理解してくれる大人や友人との「密」な関わりを求める気持ちはとても強いのではないかと思います。但馬やまびこの郷に来所したことがある子どもたちは、時にスタッフに電話をかけてきます。また、当所で知り合った子ども同士は、無料通話アプリ等で連絡をとりあい、オンラインゲームをしながら、ことばを「密」に交わしています。

どんな危機であれ、大きな危機を乗り越えたとき、私たちは人への思いやりや友情など、本当に大切なものは何か、に気づくことができるようになっていることでしょう。そして、ここでの「密」な関わりをこれまで以上に大切にするようになっているのではないでしょうか。

No Rain, No Rainbow . . . 一緒に虹を見ましょう。



地域やまびこ教室

「地域やまびこ教室」では、但馬やまびこの郷のスタッフがみなさんの地域に出かけ、体験活動や保護者交流会を行っています。第1回は、県立海洋体育館でカヌー体験と保護者交流会を行いました。その様子と参加者の感想を紹介します。

☆子どもたちの感想☆

- ・カヌーで転覆しそうになった時がおもしろかった。
- ・カヤックでぬれないように気をつけてこぐと、はじめは腕が痛かったけど、力がけんがわかると、思い通りに進めるようになり楽しかった。
- ・たくさんこいで友だちと競争したり遊んだりして楽しかった。
- ・カヌーで遠くまで行きつつゴミ拾いをしたことが心に残っている。



☆保護者の感想☆

- ・他の方の経験や悩みを聞くことで、思いを共有し、これから子どもへの関わり方の参考になった。自分のことを話すことで、自己の思いや考えが整理できた。
- ・子どもが楽しそうにゲームやカヌーに参加している姿を見てうれしくなった。
- ・違った年代のお子さんの様子や保護者の考えを聞いて有意義だった。
- ・子どもが伸び伸びと楽しく体を動かしているところが見られてうれしかった。汗をかいて疲れる機会がなかなかないので、よい時間が過ごせた。

但馬やまびこの郷からのお知らせ

- ★ 第3回 地域やまびこ教室 10月21日（水） 県立嬉野台生涯教育センター
- ★ 第4回 地域やまびこ教室 10月23日（金） 県立神出学園
- ★ 第5回 地域やまびこ教室 11月 4日（水） 県立国見の森公園

この他、当所での体験活動を行っています。新型コロナウイルス感染症の状況により、内容を変更することがあります。HPに最新情報を随時更新していますのでご確認ください。不登校・もしくは不登校傾向のお子様のことでお悩みやご相談等ありましたら、お気軽に当所までご相談ください。

